

特別支援教室のお便り

5月号

杉並区立高井戸第四小学校
特別支援教室拠点校

たかし教室直通 03-5336-9522

新年度が始まり、1か月が過ぎました。各校では、進級、クラス替え、新しい先生や新しい友だちとの出会いなど、たくさん変化がありました。子供たちは、環境の変化がある中で、頑張りと緊張が続き、知らず知らずのうちに心身に疲れがたまっているかもしれません。ご家庭でのお子さんの様子をどうぞ注意深く見守ってください。気になることがありましたら、ご相談ください。

そして、時には学校以外のことを話題にして会話を楽しんだり、趣味に打ち込んだりすることもよいかもしれません。オンとオフの切り替えを大切にお過ごしください。

高四小エリア 5～6月の予定

◇5月30日（火）～2日（金） 保護者個人面談（今年度新規入室以外の方）



- ※ 面談日時は、個別にご連絡いたします。
- ※ この期間は、指導はお休みにさせていただきます。



※たかし教室からお電話で連絡をさしあげる場合がございます。

もし、電話がつながらなかった場合は留守電にメッセージを残させていただきます。

そこでお願いがあるのですが、履歴に残された電話をリダイアルせず、改めてたかし教室直通の電話番号（03-5336-9522）にかけていただきますよう、よろしくお願ひします。

リダイアルしていただいた場合、電話回線の都合でことばの教室につながる設定になっております。
ご不便をおかけ致しますが、どうぞよろしくお願ひします。

実践紹介「ホワイトボードの活用」

◇高四小エリア各校の特別支援教室では、小集団学習「みんなの時間」のはじめに「スピーチ」の時間を設けています。内容は、楽しかったことやこれから楽しみなこと、いろいろな出来事、自分のはまっていることなどをテーマに、子供たちが2～3分程度スピーチするものです。

◇その際、子供たちの多くはA3版程度のホワイトボードを活用しています。活用の仕方は、

- ・言葉では言い表しにくいことや、特に強調したいことを、絵や図にしている。
- ・話すことよりも文を書く方が伝えやすい場合は、文章を書きこむ。
- ・クイズなどを入れて、話をわかりやすく楽しくする。などです。

◇話す側は、どのようにしたらみんなにわかりやすく伝わるかを考えることができますし、聞く側は、耳からだけで聞き取るよりも、視覚からも情報が入るので、よりわかりやすくなります。

◇また、書くことを苦手にしている子供にとっても、ホワイトボードの活用はとても効果的です。ノートやプリントなど、紙に鉛筆で書くより、ホワイトボードにペンで書くときの方が、書き味がなめらかになります。書いたものを消すときも簡単です。(ちなみに、書くことが苦手な場合は、実は消すことも苦手で、消すときに紙がぐちゃぐちゃになり、ますます書くことが嫌になるようです。)書く機会を多く作るためにも、ホワイトボードは大変役立ちます。



年　　名前



◎小集団学習「みんなの時間」

「協力・紙コップタワーをつくろう」

- ・試行錯誤しながら、紙コップを高く積む方法を考える。
- ・自分の考えを伝えたり、相手の考えを受け入れたりしながらチームで協力して活動する。
- ・ルールを守って、かかわり合いながら楽しく活動する。

「協力ジェスチャーゲーム」

- ・友だちと協力する活動を通して、他者とかかわる際に他者の考えを聞き、自分の考えを伝えるなど気持ちの共有化を図る。
- ・相手の意図を推測できるようになる。
- ・体の細部まで意識し動かすことができるようになる。

「ヒントをもとに推理しよう」

- ・相手の言葉や表情などから情報を読み取り、整理する。
- ・相手の立場や考えていることなどを推測する。
- ・ルールを守って活動することを通して、友達と関わることを楽しむ。

◎個別学習「じぶんの時間」　目標や活動の内容、その他